

第57回苫小牧市地域協議会 次 第

日 時：令和7年8月21日(木) 18時30分～

場 所：JFEリサイクルプラザ苫小牧

1 開 会

2 あいさつ

北海道総合政策部交通企画監 斎藤 由彦

苫小牧市副市長 町田 雅人

3 議 題

- (1) 新千歳空港における最近の動向について
- (2) 令和6年度航空機騒音測定結果等について
- (3) 住宅防音対策の進捗状況等について
- (4) 地域振興対策の進捗状況等について
- (5) 新千歳空港周辺地域振興基金について
- (6) その他

4 閉 会

<配付資料>

資料1-1 新千歳空港における最近の動向について

資料1-2 新千歳空港の近況について

資料2-1 令和6年度航空機騒音測定結果について

資料2-2 令和6年度遅延便の深夜・早朝時間帯使用状況について

資料2-3 千歳市側と苫小牧市側の着陸の状況について

資料3 住宅防音対策の進捗状況等について

資料4 地域振興対策の進捗状況等について

資料5 新千歳空港周辺地域振興基金について

資料6 新千歳空港における「特定利用空港」への対応について

新千歳空港における最近の動向について

1 深夜・早朝時間帯における定期便の状況

(R7年夏ダイヤ：令和7年3月30日(日)～令和7年10月25日(土))

航空会社	路線・運航時刻	運航日（8月末まで）	備 考
J A L	羽 田 20:30 → 新千歳 22:05	3/30-8/31	旅客便
	羽 田 20:40 → 新千歳 22:15	3/30-8/31	旅客便
A N A	羽 田 20:30 → 新千歳 22:05	3/30-4/6、4/11、4/13、4/18、4/20、4/25-5/7 5/9、5/11、5/16、5/18、5/23、5/25、5/30 6/1、6/6、6/8、6/13、6/15、6/20、6/22、6/27、6/29 7/4、7/6、7/11、7/13、7/14、7/18-8/31	旅客便
A D O	羽 田 20:50 → 新千歳 22:25	3/30-8/31	旅客便
	羽 田 21:30 → 新千歳 23:05	3/30-8/31	旅客便
	神 戸 20:05 → 新千歳 22:00	3/30-8/31	旅客便
A P J	成 田 20:10 → 新千歳 22:00	8/25	旅客便
S K Y	羽 田 20:30 → 新千歳 22:05	3/30-8/31	旅客便
S J O	成 田 21:20 → 新千歳 23:05	3/30-8/2、8/4-8/9、8/11-8/16、8/18-8/23 8/25-8/31	貨物便
	新千歳 1:20 → 羽 田 3:00	4/1-8/3、8/5-8/10、8/12-8/17、8/19-8/24 8/26-8/31	貨物便
	羽 田 4:30 → 新千歳 6:05	4/1-8/31	貨物便

※JAL：日本航空、ANA：全日本空輸、ADO：エア・ドウ、APJ：ピーチ・アビエーション、SKY：スカイマーク、
SJ0：スプリング ジャパン

2 深夜・早朝時間帯における国際臨時・チャーター便の状況

(令和7年8月末現在)

国・方面		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
インドネシア	ジャカルタ	1	1									
	デンパサール	1										
韓 国	仁川(インチョン)	2								3		
	清州(チョンジュ)		7									
	務安(ムアン)		11	27	27	4						
	済州(チェジュ)			8	6							
香 港	香 港		1									
グ ア ム	グ ア ム	2				1						
フィリピン	マニラ				1							
オーストラリア	メルボルン									1		
合 計		6	20	35	34	5	0	0	0	4	0	0

※R7は8月末までの計画値

新千歳空港の近況について

2025年8月1日現在 北海道エアポート株式会社 新千歳空港事業所

■ 2025年新千歳空港発着便数

- 国内路線は観光需要や帰省需要が順調に伸びる中で、航空会社は各路線の便数をコロナ前の水準に戻したといえる。
- 国際路線は冬季観光需要の増加（1－3月）に対応するように韓国・台湾・中国を中心に便数が回復し、前年の約1.5倍となり、過去を上回る便数となった。
4月以降は前年比110-130%で推移するが、観光閑散期となりコロナ前対比では67%前後に低下している。

	発着便数（便）					
	国内線	前年比	2019年比	国際線	前年比	2019年比
2025年1月	11,383	110.6%	103.3%	2,364	151.1%	111.2%
2025年2月	9,797	102.0%	97.9%	2,073	139.7%	106.5%
2025年3月	11,322	103.5%	100.6%	1,844	139.8%	97.0%
2025年4月	10,835	103.0%	99.0%	1,258	114.6%	67.4%
2025年5月	11,233	99.0%	98.3%	1,374	130.9%	66.7%
2025年6月	11,022	98.7%	98.7%	1,612	140.9%	82.1%

※本表、1月から6月データは北海道エアポート（株）作成の「新千歳空港の航空概況速報」を基に作成したものです。

■ 2025年新千歳空港旅客輸送実績

- 国内線は、2024年10月以降、羽田路線の旅客数がコロナ前とほぼ同水準に回復、その傾向は2025年も継続し、国内旅客数は順調に伸びているが、海外乗り継ぎインバウンドを含む旺盛な観光需要が全体を底上げしている。
- 国際線において、北海道の冬季観光に対する海外インバウンド需要は韓国路線が牽引しており、加えて台湾・中国を中心としたアジア圏からの旅行客が大幅に増加してきた。地上業務の人手不足や燃油輸送体制などの課題解決に向けた取り組みも奏功したといえる。ただし、4月以降はコロナ前対比70-80%に低下し、季節偏差が顕著となっている。

	旅客輸送実績（人）					
	国内線	前年比	2019年比	国際線	前年比	2019年比
2025年1月	1,723,767	115.2%	108.9%	535,200	141.9%	121.7%
2025年2月	1,675,868	107.2%	107.2%	464,599	128.4%	112.9%
2025年3月	1,861,739	110.4%	106.8%	356,190	133.9%	104.7%
2025年4月	1,414,605	106.9%	98.9%	218,043	119.4%	79.9%
2025年5月	1,749,025	108.5%	99.0%	232,832	123.2%	73.4%
2025年6月	1,812,731	104.0%	103.0%	287,830	119.9%	86.1%

※本表、1月から6月データは北海道エアポート（株）作成の「新千歳空港の航空概況速報」を基に作成したものです。

令和6年度航空機騒音測定結果について

令和6年度民航機Lden値

「新千歳空港の24時間運用に関する合意書」の確認事項に基づく、令和6年度の民航機Lden値の状況は次のとおりです。

(Lden值單位：dB)

区域	設置	測 定 局	24時間運用 対策区域	24時間 予測W	(参考) Lden換算値	令和6年度		令和5年度	
						年間Lden値	民航Lden値	年間Lden値	民航Lden値
千歳市	北海道	東 郊	区 域 外	59		60	51	60	44
		梅ヶ丘	75 ～ 85W	75	62～70dB	59	58	59	57
		富 丘	区 域 外	51		53	32	52	33
		稲 穂	区 域 外	—		61	39	60	41
		根志越東	70 ～ 75W	70	57～62dB	55	54	55	54
		旭ヶ丘	75 ～ 85W	78	62～70dB	61	59	60	58
		駒 里	補完 (<70W)	58	57dB未満	49	48	48	46
		あけぼの	準対 (<70W)	69	57dB未満	59	48	58	47
		弥生公園	75 ～ 85W	74	62～70dB	59	57	58	56
	千歳市	青 葉 丘	区 域 外	66		65	44	65	45
		住 吉	区 域 外	60		63	41	63	43
		東 雲	区 域 外	56		60	38	60	39
		寿	75 ～ 85W	76	62～70dB	60	59	60	59
		北 斗	区 域 外	51		51	27	50	29
		里 美	区 域 外	45		40	13	40	22
		駒 里 東	補完 (<70W)	—	57dB未満	45	43	46	42
根志越南	補完 (<70W)	—	57dB未満	57	47	57	48		
苫小牧市	北海道	植 苗	75 ～ 85W	74	62～70dB	57	58	56	56
		ウトナイ	補完 (<70W)	69	57dB未満	51	49	50	48
		美 沢	補完 (<70W)	64	57dB未満	46	46	46	45
		湖 畔	70 ～ 75W	73	57～62dB	58	59	57	57
		斉 藤 宅	補完 (<70W)	66	57dB未満	44	44	44	43
		植苗公園	70 ～ 75W	—	57～62dB	52	52	51	50
		勇 払	区 域 外	64		50	51	49	49
		沼ノ端東雲	準対 (<70W)	—	57dB未満	53	53	53	52
		勇 払 東	区 域 外	—		50	51	49	49
	苫小牧市	植苗会館	70 ～ 75W	69	57～62dB	49	49	50	48
		丹 治 沼	75 ～ 85W	78	62～70dB	58	59	58	58
		琥珀 荘	70 ～ 75W	70	57dB未満	50	50	49	48
		沼ノ端東	補完 (<70W)	68	57dB未満	54	55	51	50
		沼ノ端	補完 (<70W)	67	57dB未満	50	48	53	53
糸 井	区 域 外	—		36	25	36	24		

【参考】 $L_{den}57\text{dB} = \text{WECPNL}$ 值70、 $L_{den}62\text{dB} = \text{WECPNL}$ 值75

○ 民航機Lden値の算出方法について

- ・新千歳空港周辺における航空機騒音の監視は、環境基準の評価を目的として、新千歳空港及び隣接する千歳飛行場を使用する航空機の騒音を測定することにより行っていることから、民航機の騒音だけを識別したり分離して把握することは困難である。
- ・そのため新千歳空港を離着陸する航空機の騒音を把握する方法として、千歳飛行場に係る自衛隊機（ジェット戦闘機）の離着陸のなかった日を民航機の航空機騒音を測定した日とみなし算出対象とし、対象日毎のLdenの全ての値をパワー平均し、これを民航機の年間Ldenとしている。
- ・令和6年度の集計対象日数は140日である。（令和5年度：151日）

○ パワー平均値について

〈計算式〉

- 環境基準に係る航空機騒音の評価も、測定された1機毎の単発騒音暴露レベルから1日毎のLden値を算出し、1年間のその全ての値をパワー平均して行うこととしている。

— $L_{den} = 10 \log_{10} \left(\frac{1}{N} \sum_i 10^{L_{deni}/10} \right)$ $\left\{ \begin{array}{l} L_{den} : \text{パワー平均値} \\ L_{deni} : \text{各データ値} \\ N : \text{測定日数} \end{array} \right.$

令和6年度 遅延便の深夜・早朝時間帯使用状況について

1 航空会社別便数

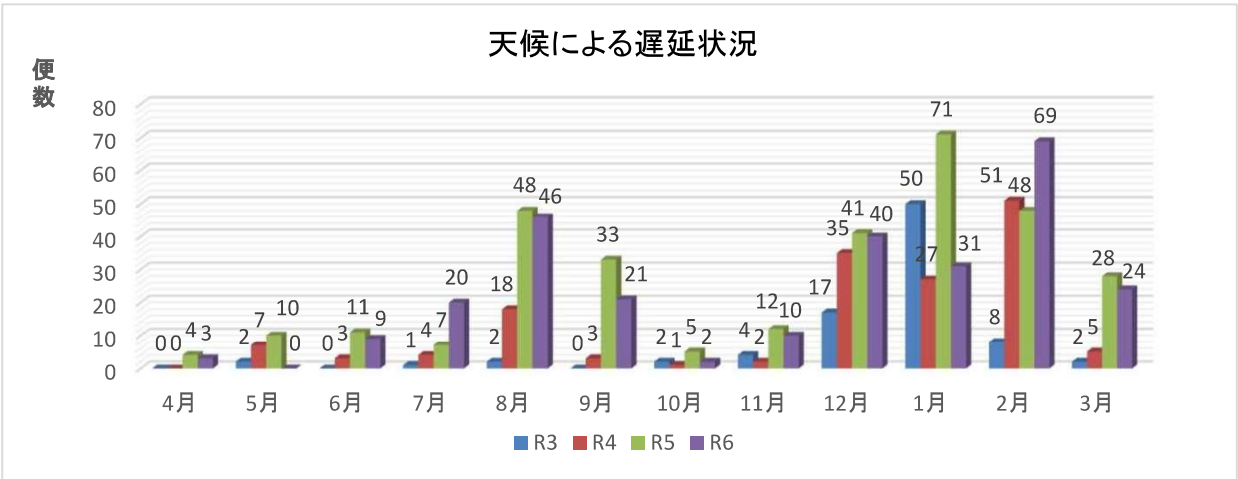
	JAL	ANA	ADO	SKY	その他 (国 内)	その他 (国 際)	計
R3	45 (26%)	26 (15%)	64 (38%)	14 (8%)	21 (12%)	0 (0%)	170
R4	73 (19%)	92 (24%)	163 (42%)	15 (4%)	38 (10%)	5 (1%)	386
R5	180 (25%)	217 (30%)	226 (32%)	37 (5%)	49 (7%)	8 (1%)	717
R6	194 (27%)	376 (52%)	105 (14%)	18 (2%)	26 (4%)	10 (1%)	729

※ ()内は構成割合

2 理由別便数

	天 候	機材繰り	機材故障	出発準備 作業遅れ	航空管制等	その他	計
R3	88 (52%)	45 (26%)	25 (15%)	5 (3%)	2 (1%)	5 (3%)	170
R4	156 (40%)	151 (39%)	33 (9%)	17 (4%)	13 (3%)	16 (4%)	386
R5	318 (44%)	220 (31%)	54 (8%)	27 (4%)	12 (2%)	86 (12%)	717
R6	275 (38%)	246 (34%)	59 (8%)	31 (4%)	26 (4%)	92 (13%)	729

※ 「その他」の
主な内訳 : 乗務員の接続遅れ、他便乗客等の救済、空港施設の混雑、搭乗の取止め、誘導路の混雑、緊急事態 など



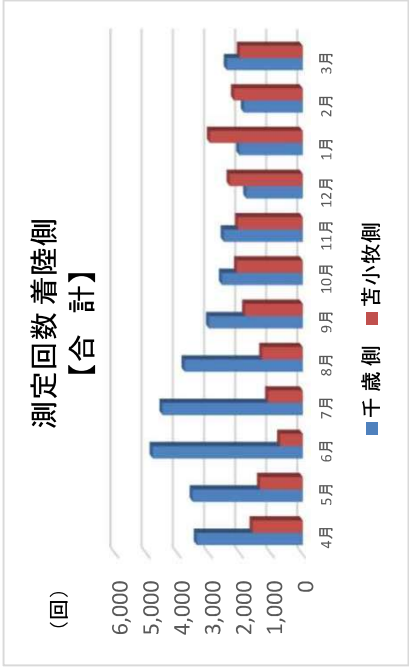
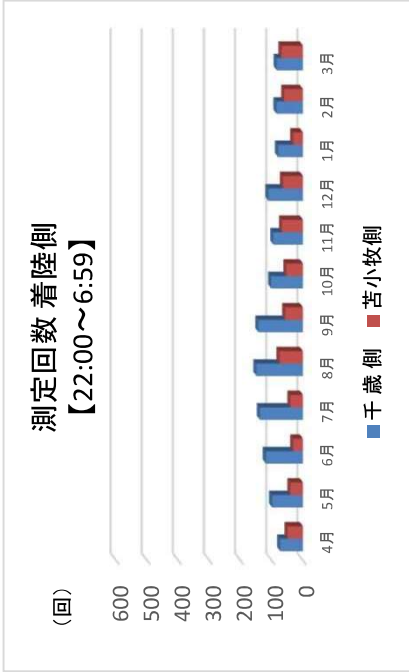
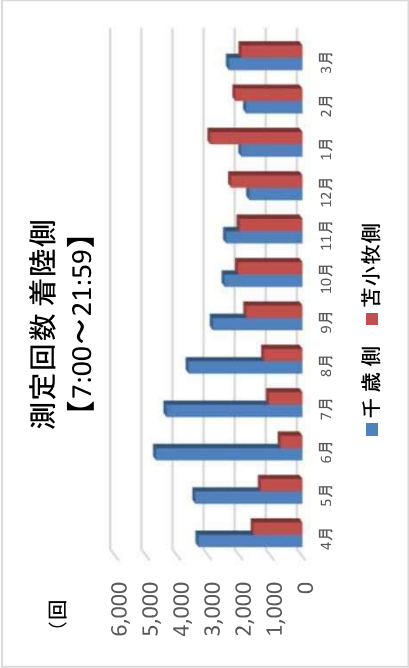
3 時間帯別便数

	22:00 ～22:19	22:20 ～22:39	22:40 ～22:59	23:00 ～23:19	23:20 ～23:39	23:40 ～23:59	0:00 ～5:59	6:00 ～7:00	計
R3	74 (44%)	43 (25%)	22 (13%)	11 (6%)	4 (2%)	7 (4%)	9 (5%)	0 (0%)	170
R4	213 (55%)	72 (19%)	45 (12%)	20 (5%)	15 (4%)	8 (2%)	13 (3%)	0 (0%)	386
R5	322 (45%)	173 (24%)	98 (14%)	43 (6%)	29 (4%)	27 (4%)	25 (3%)	0 (0%)	717
R6	377 (52%)	177 (24%)	88 (12%)	39 (5%)	16 (2%)	11 (2%)	21 (3%)	0 (0%)	729

千歳市側と苫小牧市側の着陸の状況について

■ 令和 6 年度 航空機騒音測定回数（着陸側）

区 分	着陸側	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
7:00～21:59	千 歳 側	3, 335	3, 438	4, 703	4, 366	3, 649	2, 875	2, 495	2, 446	1, 706	1, 962	1, 807	2, 358	35, 140
	苫小牧側	1, 565	1, 334	693	1, 070	1, 229	1, 798	2, 062	2, 013	2, 286	2, 955	2, 152	1, 951	21, 108
22:00～6:59	千 歳 側	73	99	119	138	149	143	102	95	111	80	85	84	1, 278
	苫小牧側	49	40	31	40	75	57	53	67	64	31	60	69	636
合 計	千 歳 側	3, 408	3, 537	4, 822	4, 504	3, 798	3, 018	2, 597	2, 541	1, 817	2, 042	1, 892	2, 442	36, 418
	苫小牧側	1, 614	1, 374	724	1, 110	1, 304	1, 855	2, 115	2, 080	2, 350	2, 986	2, 212	2, 020	21, 744



- ・ 着陸方向については、千歳側は「旭ヶ丘局」、苫小牧側は「植苗局」を代表測定局として、双方の計測値から判断した。
また、集計数についても、双方の測定局における計測値に基づき算出した。
- ・ 離陸方向については、千歳側から離陸する航空機が東京方面等へ南下する場合、千歳側での旋回後に苫小牧側に向かうため、双方の測定局で計測されるケースが多く、計測値からは正確な離陸回数を判断できない。

住宅防音対策の進捗状況等について

1 令和6年度の実績等

区 分		意向調査 回答数	工 事 実 績			R6までの 実施率	R7 計画数	計	R7までの 実施率
			～R5	R6	R5繰越分				
千 歳 市	一般住宅	1,760	762	95	8	48.7%	107	964	54.8%
	世帯数	1,803	788	97	8	49.1%	110	995	55.2%
	集合住宅	145	60	9	2	47.6%	5	74	51.0%
	世帯数	969	444	82	16	54.3%	29	555	57.3%
	計	1,905	822	104	10	48.6%	112	1,038	54.5%
	世帯数	2,772	1,232	179	24	50.9%	139	1,550	55.9%
苫 小 牧 市	一般住宅	297	139	13	1	51.2%	17	169	56.9%
	世帯数	305	140	14	1	50.5%	18	172	56.4%
	集合住宅	7	3	0	0	42.9%	0	3	42.9%
	世帯数	83	34	0	0	41.0%	0	34	41.0%
	計	304	142	13	1	51.0%	17	172	56.6%
	世帯数	388	174	14	1	48.5%	18	206	53.1%
合 計	一般住宅	2,057	901	108	9	49.1%	124	1,133	55.1%
	世帯数	2,108	928	111	9	49.3%	128	1,167	55.4%
	集合住宅	152	63	9	2	47.4%	5	77	50.7%
	世帯数	1,052	478	82	16	53.2%	29	589	56.0%
	計	2,209	964	117	11	48.9%	129	1,210	54.8%
	世帯数	3,160	1,406	193	25	50.6%	157	1,756	55.6%

2 令和7年度現地調査（苫小牧市）

区 分	R6までに 実施済	第1次 (4/18-24)	第2次 (7/1-8)	第3次 (9/2-10)	計
一 般 住 宅	1	5	6	4	16
集 合 住 宅	0	0	0	0	0
計	1	5	6	4	16

※第1次、第2次は実施件数、第3次は予定件数

【参 考】

<住宅防音工事の流れ>

時期	工事実施前年		工事実施(施工)年	
	4月 ～ 9月		～3月	4月 ～ 12月
内容	現 地 調 査			工事(施工)
	設計・設計審査			

【実施方針】

- 意向調査提出者を以下の評点基準により順位付けし、そのうちの上位の方から工事を実施
- 1年目に現地調査・設計を行い、2年目に工事を実施(施工)
- 対象世帯に対し、現地調査の直前に「候補住宅通知書」を送付

【評価基準】

- ・騒音の影響の大きい地域
- ・障がい者や要介護者・高齢者(65歳以上)・乳幼児が居住する住宅
- ・内窓や冷房装置の設置工事のみを希望する場合(補完工事含む) 等

※ 状況により調査や工事(施工)の時期がずれる可能性があります。

※ 工事実施予定時期等については、こちらにお問い合わせください。

新千歳空港周辺環境整備財団 0123-42-2400

<(公財)新千歳空港周辺環境整備財団 組織図>



地域振興対策の進捗状況等について

(苫小牧市)

■ 事業の概要等

事業名	進捗状況																									
植 苗																										
公営(道営)住宅の整備	<table><tr><th>区 分</th><th>完成年月</th><th>戸 数</th><th>入居数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>第 1 期</td><td>H31. 3 月</td><td>8</td><td>8</td><td>満室</td></tr><tr><td>第 2 期</td><td>R2. 3 月</td><td>8</td><td>8</td><td>満室</td></tr><tr><td>第 3 期</td><td>R4. 3 月</td><td>7</td><td>7</td><td>満室</td></tr><tr><td>第 4 期</td><td>R6. 2 月</td><td>6</td><td>6</td><td>満室</td></tr></table>	区 分	完成年月	戸 数	入居数	備 考	第 1 期	H31. 3 月	8	8	満室	第 2 期	R2. 3 月	8	8	満室	第 3 期	R4. 3 月	7	7	満室	第 4 期	R6. 2 月	6	6	満室
	区 分	完成年月	戸 数	入居数	備 考																					
	第 1 期	H31. 3 月	8	8	満室																					
	第 2 期	R2. 3 月	8	8	満室																					
	第 3 期	R4. 3 月	7	7	満室																					
第 4 期	R6. 2 月	6	6	満室																						
道の駅関連施設の整備	H31. 3 月 供用開始(道の駅展望デッキ)																									
冷暖房機器等の設置 (住宅防音工事と 合わせて実施)	<table><tr><th>年度</th><th>～R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>小計</th><th>R7 見込</th></tr><tr><td>件数</td><td>40</td><td>16</td><td>9</td><td>9</td><td>6</td><td>80</td><td>10</td></tr></table>	年度	～R2	R3	R4	R5	R6	小計	R7 見込	件数	40	16	9	9	6	80	10									
年度	～R2	R3	R4	R5	R6	小計	R7 見込																			
件数	40	16	9	9	6	80	10																			
住宅建設が可能となる 区域拡大の検討	植苗星ヶ丘地区の地区計画策定 (H28. 11. 18 苫小牧市において告示)																									
沼 ノ 端																										
複合施設の整備 (児童センター、行政窓口等)	H30. 10 月 供用開始(沼ノ端交流センター)																									
文化交流施設の整備	R4. 12 月 供用開始(苫小牧市東開文化交流サロン)																									
勇 払																										
総合福祉会館の整備	H29. 12 月 供用開始(勇払総合福祉会館)																									

新千歳空港周辺地域振興基金について

1 基金の概要

造成目標額	令和6年度末 造成済額	残 額
30億円	19億5,970万円	10億4,030万円

- ・ 道内で事業を展開する企業を中心に約70社に協力を要請
- ・ 平成28年度～令和3年度で17社から総額1億1,750万円の寄附

【主な寄附企業】

(株)ニトリ	(株)JTB北海道
伊藤組土建(株)	(株)近畿日本ツーリスト北海道
(株)ツルハホールディングス	(株)日本旅行北海道
(株)アインホールディングス	(株)リクルート北海道じゃらん
サツドラホールディングス(株)	YKK AP (株)
(株)ラルズ	北海道中央バス (株)
(株)ローソン	(株)AIRDO
(株)エクセルシャノン	

2 基金造成に向けた取組

- ・ 新型コロナウイルス感染症による社会情勢を踏まえ、企業等に対する協力要請を中断していたが、昨年度(令和6年度)より、経済界等との協議を踏まえ、基金の確保に向けて寄附要請活動を再開